

【資料 4 令和9年度収支見通し費用構成表】

令和9年度収支見込費用内訳【収益的収支】

項目	減価償却・資産減耗	委託料	人件費	動力費	償還利息	修繕費	薬品費	光熱水費	燃料費	その他	費用計（千円）
構成率	40.91%	19.86%	12.70%	10.47%	5.70%	4.19%	1.89%	0.16%	0.07%	4.03%	100.00%
費用	137,051	66,547	42,560	35,094	19,113	14,053	6,347	530	245	13,493	335,033
	95.97%										

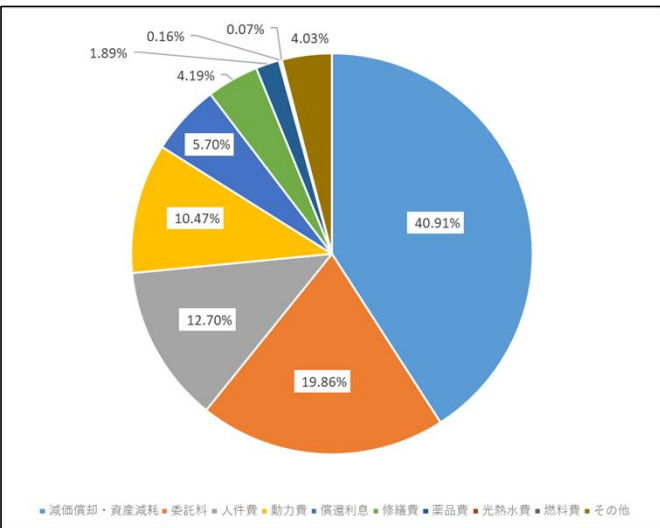
令和9年度収支見込費用内訳【資本的収支】

項目	負担金	委託料	備品購入	工事請負費	償還元金	費用計（千円）
構成率	1.17%	3.51%	1.01%	62.71%	31.61%	100.00%
費用	5,000	15,000	4,298	268,169	135,176	427,643

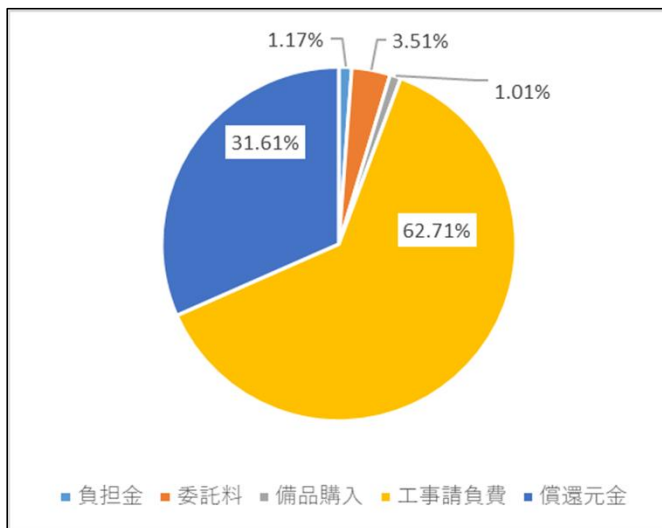
うち特定財源

補助金	0	0	0	0		0
企業債	0	11,250	0	196,300		207,550

費用構成表【収益的収支】



費用構成表【資本的収支】



【収益的収支】

- ・減価償却・資産減耗費、償還利息が全体の約46%を占めている。
- ・動力費、燃料費、光熱水費、薬品費は水質や配水状況により必要となるもので、縮減が難しい。
- ・漏水等で無駄な送水を行わないように必要分を修繕で対応しており、修繕費を削減することにより、無駄な動力費等が発生する可能性がある。
- ・全体的な予算の執行においては、入札等により経済性を担保しており、これ以上の縮減は難しい。
- ・その他に含まれる消耗品、通信運搬費、手数料等においても、庁舎内で一括対応しており、必要分のみを水道事業で負担しているため、これ以上の縮減は難しい。

【資本的収支】

- ・過去の建設改良事業の状況等により、国庫補助金の要件に該当せず、現在は企業債と自主財源だけで実施している状態となっているが、耐用年数を迎える施設、管路が増えてきており、計画的な更新を進めていかないと大規模な配水事故（広範囲な断水）等のリスクが高まっていくため、必要な事業は先送りせずに実施していくことが必要となる。